

やるが増えたのに、日々の暮らしに潤いが出た。

復職を半ば諦めかけていた私に
友人がくれたきっかけ

この活動に参加する前は、ハローワークに行ったり、求人誌を見たりして、自分の希望の条件（短時間・土日休み等）を探していましたが、なかなか見つけられず、復職を半ば諦めかけていました。そんなとき、友人からこの活動のことを聞き、「週1回2時間から」始めて、仕事につながる可能性があるならと思い、チャレンジしてみようと思いました。



勝倉 美恵子

- ・白河市在住
- ・1児のママ
- ・PTAの役員等を数多く経験

要領よく家事をこなすって気持ちいい

活動の最初にやった「24時間時計」のワークが衝撃的でした。復職した際に、家事をどうこなすか、自分の中の課題が明確になったからです。実際に活動がスタートしてからは、要領が良くなったというか、いい意味で「手を抜くポイント」が分かったり、時間を意識して効率的に動けるようになりました。私は「暮らしに潤いが出たな」と感じました。

家族の応援も頑張れた秘訣だと思う

夫は元々、私が働くことについては賛成だったので、この活動に参加したいと話した時から今まで、ずっと応援してくれています。また、うちの家族は旅行が好きで、子どもにも「旅行をより楽しむための仕事」と話したら、「ママ頑張れ!」と言ってくれるようになりました。家族が応援してくれたことも私が頑張れた秘訣なのかなと思います。

Message

思い切って踏み出したことで、家事や育児も、それぞれ落ち着いて取り組めるようになりました。そういう面も含めて充実した毎日になったので、一歩踏み出した気持ち、応援します!

活動を振り返って

今回の活動の振り返りをひと言で表すなら、私の中では「発見」です。活動を始めて、充実感のある毎日が過ごせました。1日が長く感じました。また、働き方として、こうしてチームでひとつのものをすることももちろん、何より仕事に楽しく取り組めることが新鮮で、まるで自分の第二の人生がスタートしたかのような気持ちになりました。

自分の第二の人生が
スタートしたような気がした



子どものことを最優先に
考えながら働ける選択肢が
あることを実感できた

チームで活動したことで自分の成長を感じられた。

「子育て最優先」が実現できる
選択肢を探していた

私は子ども第一というか、子育てを生活の真ん中におきたいと考えていました。子どもに負担にならないように、子どもが幼稚園や学校に行っている間に仕事ができたらいいなと思っていました。この活動のことを知った時、「週1回2時間から」というのが、まさに私が求めていた働き方だと思って、チャレンジしてみようと思いました。

子どもが描いてくれた
自分の仕事風景

今回の活動は、無理のない範囲で始めるという趣旨だったので、子どものことを最優先にしながら、自分の作業時間を確保するという時間調整も無理なくできました。活動の中で、在宅での作業もあったのですが、家で私にとって新鮮だったのか、子どもが私の作業風景の絵を描いてくれたのは印象的でした。



荒井 由美

- ・白河市在住
- ・2児のママ
- ・事務職をこれまで長く経験

いろんな場面で新たな自分を
実感・発見できて嬉しかった

活動に参加してから、生活全般で ON と OFF の切り替えがうまくできるようになった気がします。夫にも「ママ、いきいきしてるね!」と言われ、嬉しかったです。また、一人で黙々とできるデスクワークが自分に向いていると思っていましたが、チームで仕事をするのが楽しくて、自分もこういう仕事の進め方ができるんだ!と新たな自分を発見した気がしました。

Message

私の実体験として、自分が動くことで選択肢が広がることもあると思うので、みんなそれぞれが自分に合った働き方を模索することは大事だなと改めて思いました。

活動を振り返って

今回、チームの団結力や、チームでつくりあげていく楽しさ、喜びを感じることができたことで、自分自身の成長も感じました。また、活動の最初にみんなで確認した「チームのルール」も、安心して取り組めた理由のひとつかなと思います。また、活動を通じて、もっと PC やコミュニケーションのスキルを高めたいと思うようになりました。